

## 初任運転者に対して行う「安全運転の実技指導」の内容

### • 車種区分

大型・中型・小型のうち、初任者の適性、経験、乗務区分の希望、配置等を勘案し決定する

### • 実施ルート

運行で常用する近郊の一般道・市街地から山間地(坂道)、狹隘路、主要な高速道路等、実際乗務で使用する車種や乗務内容により都度決定する

### • 指導の具体内容(ハンドル時間 20 時間以上)

適性診断の内容や経験の有無などに応じ、規定の指導内容(※)に沿って行う

MT 車 AT 車の他、車両の性能・特性・装備などに応じ実施する

安全性の向上を図るための装置を備えた車両においては、適切な運転方法や装置作動時の挙動などを可能な範囲で行う

進捗や技能向上の程度に応じ、時間延長等を個別に判断して行う

自身の運転するドライブレコーダーの映像を見ながら振り返り学習し、次回実技に役立てる

※詳細指導内容については別添参照

### • 実施日程・時期

指導を開始する季節により都度決定。

天候の良い日中から開始し、夕暮れ～夜間・雨天時や冬季など、技能向上の程度を観察しながら段階を経て進める

### • 添乗者の指導歴

過去に指導経験のある大型二種免許保有の運行管理者、安全統括管理者から選任し実施する

### • その他

座学においては以下項目に沿って合計 10 時間以上行う

- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項
- ④ 危険の予測及び回避
- ⑤ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑥ ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正